

パートナーシップ通信 109



「立春」

地域教育コーディネーター 郷 扶二子
原 明子



今年もわくわくランド恒例の「豆まき」が行われました。春を呼び込む大切な季節行事です。スタッフの方々は、心の中に潜んでいる悪い鬼やからだに住みついた怖い鬼を豆で退治して、坂井東小学校の子どもたちが元気に健やかに育つことを願って準備を重ねます。いつも温かく見守ってくださるたくさんの地域の方々に感謝です。

また、1月は記録的な大雪にみまわれました。子どもたちの登下校を見守ってくださるたくさんのセフトィスタッフの赤いコートがとても心強く感じました。

これからも書写、昔の遊びなどボランティアの方々の協力をたくさんいただきます。ボランティアの方々はいつも温かく優しく子どもたちを見守ってくださっています。そして危ないときにはきちんと厳しく叱ってくださいます。地域全体が大家族のような雰囲気の中で、子どもたちが育っていることを感じます。

いよいよ各学年まとめの学習に向かっていく季節です。しっかりと学びを身に付けて春を迎えてほしいと願っています。

「6年生 ヒューマンライブラリー」

6年生のキャリア教育の一環としてヒューマンライブラリーを開催しました。この日は5人のゲストの方々が「本」となり、自分の夢や働き方、そして6年生への思いをたくさん聞かせてくださいました。子どものうちに様々なおとなと関わり話をする機会は、子どもたちの未来にとっても役立つと思います。ゲストの皆さんはどなたも自分の生き方や夢の実現に懸命に取り組んでおられる方ばかりです。限られた時間でしたが子どもたちと真剣に向き合ってくださいました。熱く語るおとなたちの生き方に、6年生はたくさんの学びを得ることができました。

「キムチ作り教室」

12月も好評だった手作りキムチ教室を開催しました。このキムチ教室はおとなの学びとしてすっかり地域に定着し、今回も30余名の参加者が集まりました。おなじみの顔ぶれに加え、今回初めて参加する方も数多くいらっしゃいました。「キムチをもらったけど自分でも作りたくて。」「〇〇さんに誘われたの。」と、どなたも参加した方が声をかけた方ばかりでした。多くの方から学校に意識を向けて足を運んでくれるようになることはパートナーシップ事業の目的でもあります。これからも学校が地域の学びの拠点として機能して定着していくことを目指します。

「地域と学校パートナーシップ事業推進会議」

2月2日に地域と学校パートナーシップ事業推進会議を開催しました。今年度の取組を発表した後、今年度はグループに分かれ意見交換をする時間を設けました。どのグループでも「子どもたちにもっと伸ばしてほしい力」などについて活発な話し合いがおこなわれました。まとめのグループ発表を聞きながら、おとなたちの子どもたちに寄せる思いがとても強いことを改めて感じました。会議でのご意見を参考に、これからも学校や地域と協働しながらパートナーシップ事業を進めていきたいと考えています。たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。

笑顔がいっぱいスナップギャラリー

< ヒューマンライブラリー～未来の自分へ～ >



子どもたちからの質問に誠実に応えようとするゲストの皆さんの様子が印象的でした。どの「本」のお話も興味深いものばかりで、時間があっという間に過ぎていきました。

< 盛況だったキムチ作り教室 >



野菜や果物を切って、混ぜて、袋詰めすると「さかひがキムチ」の完成です。試食を兼ねた昼食タイムでは和やかな笑い声があふれていました。

< 子どもたちのために～パートナーシップ事業推進会議～ >



「坂井東の子は優しいんだよ。」と嬉しいお声も聞けました。地域の皆さんの思いが凝縮した、実りある時間でした。ありがとうございました。

只今 展示中!



子どもたちの書初め作品を公民館のフリースペースに展示しています。台紙に貼って掲示するまで、ボランティアの方にお手伝いいただきました。たくさんの方々に、子どもたちの頑張りを見ていただきたいと思います。

【 問い合わせ先 】
地域教育コーディネーター 郷 扶二子 原 明子 080-8023-4258
坂井東小学校担当 教務主任 鶴巻 義和 025-260-2117